

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 196
2007年
5～6月号

行 事 案 内

Enjoy手賀沼！ 第18回バードウィーク手賀沼探鳥会

5月10日～16日はバードウィークです。恒例の手賀沼探鳥会を実施します。当会と(財)山階鳥類研究所、我孫子市鳥の博物館が共催するイベントです。同日、手賀沼親水広場で開催される「Enjoy手賀沼！」(Enjoy手賀沼実行委員会主催)に併せた行事です。探鳥会には約100名の市民の参加が見込まれ、当会は探鳥会の実施面を担当しますので、人手が必要になります。会員多数のお手伝いをお願いします。

期 日 平成19年5月13日(日)

集 合 手賀沼親水広場 芝生 午前8時30分

担 当 全幹事

案 内 6班編成で、順次出発、ふれあい道路を東進し、高野山新田の信号の先で右折、遊歩道へ入り、滝下広場から遊歩道を戻ります。班毎に鳥合わせを行い解散です。原則12時終了の予定です。5月の定例探鳥会はこのバードウィーク手賀沼探鳥会に替えます。

雨天の場合は、我孫子市鳥の博物館見学会(入場無料)を行います。館内の案内、説明等を会員が手伝います。確認は7時30分以降「鳥博」(04-7185-2212)まで。

6月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 6月10日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 夏鳥達の囀りが盛んです。また水鳥達の雛が見られるかもしれませんし、この時期は期待のヨシゴイやサシバにも出会えるかもしれません。期待しましょう。

解 散 正午

担 当 飯島、桑森、小林(寿)、野口(紀)、北原、佐々木、松田

花貫溪谷・里美牧場探鳥会

期 日 6月2日(土)～3日(日)
集 合 我孫子駅北口 午前7時
交 通 自家用車分乗です。申込の際自家用車提供可能な方はその旨ご連絡ください。

宿 舎 プラトー里美
常陸太田市中町 3417-1
Tel 0294-82-4221

費 用 13,000円(宿泊費、交通費、保険代等)

案 内 1日目は花貫ダム駐車場周辺および花貫溪谷沿いで探鳥。その後宿のプラトー里美周辺や近くのハイキ

ングコースを探鳥。2日目は宿周辺早朝探鳥、朝食後周辺の林道で探鳥。ミソサザイのトレモロ、コルリのさえずり、クロツグミ、トケン類、運がよければオオルリ、サンコウチョウなどが期待できます。なお、探鳥地の詳細については「ほーほーどり No192 の里美牧場での探鳥会」をご覧ください。

持 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途中購入可)
 申 込 定員 20名 5月1日より受付開始
 小玉文夫まで
 Tel/Fax 04-7139-8260

担 当 小玉、染谷、田丸

飯 岡 ・ 笹 川 探 鳥 会

期 日 6月24日(日) 雨天中止
 集 合 我孫子駅北口 午前8時
 案 内 今回は毎年の見逃す事の出来ない
 笹川のオオセッカやコヨシキリに
 加えて、飯岡の砂浜にアジサシ類を
 探鳥します。過去にキョクアジサシ
 が確認された所、大いに期待がかか

ります。
 持 参 観察用具、弁当(途中購入可)、雨具
 交 通 自家用車分乗です。同乗者は一人
 1,500円を運転者にお渡し下さい。
 また、申込の際、自家用車提供可能
 な方はその旨をご連絡下さい。
 申 込 定員 20名 飯島博まで
 5月のバードウィーク手賀沼探鳥
 会または下記まで
 Tel 04-7185-8610

担 当 飯島、北原

5月幹事会開催案内

日 時 5月13日(日)
 13:30~17:00
 場 所 湖北地区公民館 第3学習室(湖
 北台近隣センター)
 議 題
 19年度下期行事予定
 会報197号の記載記事について
 報告事項
 その他(議題のある場合は事務局まで
 連絡ください。)

行 事 報 告

2月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2007年2月11日 9:00~12:
 00 晴・風強 気温9

<認めた鳥> カイツブリ、カンムリカイツ
 ブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、
 コブハクチョウ、オオハクチョウ、マガモ、
 カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、オナガガ
 モ、ミコアイサ、ミサゴ、キジ、バン、オオ
 バン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、
 カワセミ、ヒバリ、ハクセキレイ、セグロセ
 ケレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ルリビ

タキ、シロハラ、ツグミ、ヤマガラ、メジロ、
 ホオジロ、カシラダカ、アオジ、クロジ、オ
 オジュリン、アトリ、カワラヒワ、スズメ、
 ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス
 計44種 番外:カワラバト

<探鳥班> 村瀬和則、榎本右、佐々木隆、
 小口勝久、飯島博、小川克子、宮下三禮、諏
 訪哲夫、谷山晴男、川田光男、松田幸保、山
 田哲生、桑森亮、間野吉幸、類地佑子、田丸
 喜昭、田丸メリー、ルイス、天野正臣、天野睦
 子、太田暁子、猪爪敏夫、橋本清、古出洋子、
 田中功、玉井修一郎、武藤康之、鈴木静治、
 佐藤弘美、小玉文夫、常盤孝義、西嶋昭生、

西嶋みどり、六角昭男、岩田孝之、野口紀子、野口紀恵、染谷迪夫（担当 北原建郎）
計 38 名

<カウント班> 飯泉仁、飯泉久美子
調査日時 2007年2月3日 14:00~16:10 晴れ 気温 10

調査種	上沼	下沼	合計
カツリ	5	11	16
かんりカツリ	4	10	14
カウ	10	163	173
タヱギ	3	4	7
コサギ	4	4	8
アオサギ	9	2	11
コフハチョウ	6	2	8
マガモ	0	18	18
カルガモ	55	73	128
コガモ	0	111	111
オカヨガモ	1	0	1
ヒトリガモ	0	101	101
オナガガモ	0	23	23
ハシビロガモ	0	4	4
ホシビロ	0	6	6
ミコアイサ	0	6	6
オオバン	79	46	125
クゲリ	0	10	10
ユリカメ	52	36	88
セグロカメ	2	1	3
合計	230	631	861

3月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2007年3月11日(日)
9:00 集合
雨天により中止

当日は10名の熱心な方達が集合しました。定例の手賀沼探鳥会は中止としましたが、7名は鳥の博物館へ、1名は探鳥へ向かいました。皆さん、雨天にもかかわらずお疲れ様でした。
(担当 佐々木隆)

<カウント班> 飯泉仁、飯泉久美子
調査日時 2007年3月4日 11:15~15:00 晴れ 気温 19

調査種	上沼	下沼	合計
カツリ	15	7	22
かんりカツリ	0	4	4
カウ	115	90	205
タヱギ	1	6	7
コサギ	10	7	17
アオサギ	6	9	15
コフハチョウ	7	3	10
マガモ	3	10	13
カルガモ	7	9	16
コガモ	26	43	69
オカヨガモ	26	0	26
ヒトリガモ	0	52	52
オナガガモ	9	7	16
ハシビロガモ	0	4	4
ホシビロ	0	6	6
ミコアイサ	0	2	2
バン	1	0	1
オオバン	138	38	176
ユリカメ	9	27	36
セグロカメ	0	7	7
合計	373	331	704

平成 19 年 2 月臨時幹事会報告

日時 2月11日(日)
13:30~17:00
場所 アビスタ 工芸工作室
議題 任期満期に伴う役員改選
その他

平成 19 年 3 月幹事会報告

日時 3月11日(日)
13:30~17:00
場所 アビスタ 工芸工作室
議題 総会議案の検討
・18年度活動報告及び決算案
・19年度事業計画及び予算案
会報196号の記載記事
報告事項

井頭公園探鳥会

2月4日

お目当てのミヤマホオジロ確認

柴本法子

2月4日(日)晴れ気温10度2月としてはとても暖かな、探鳥日よりでした。毎年大盛況の井頭公園探鳥会。私は清岡万紀子さんの代わりに急遽参加しました。私と小林秀美さんは東京からの参加。小林さんには、前日から家に泊まってもらい一緒に眠い目をこすりながら5時に起床。我孫子には7時40分頃着きました。

車の流れも順調に約2時間で現地に到着。その後、鳥見亭にて常駐のレンジャーの方から最新の鳥情報のレクチャーを受けて(今年は暖冬なので数が少ないとのこと)、A班西側、B班東側、に分かれてバードソンの始まりです。今年は何種類の鳥に出会えるかわくわく。

私の大好きなミコアイサ、ミヤマホオジロ。これさえ見られれば、花丸気分です。いきなりミコのオス・メスの確認でき、さいさき良好。水鳥たちも元気よく餌を採ったり追いかけていたり。カワウの甲羅干しをする姿も見受けられましたが、ここでもカワウの被害で樹が糞で白くなり、その周辺は悪臭を放っているとのことでした。

なかなかお目当てのミヤマホオジロの姿が確認できず、日のあたる小高い丘で昼食。大暖冬のおかげで今が真冬とは、とても思えない日でした。丘を下る途中でミヤマホオジロ確認！アー来てよかった、田中功さんから大きな双眼鏡を借りて可愛い姿を観察することが出来ました。

バードソンの結果は両班それぞれ見えない種類があるにもかかわらず41対41で引き分けでした。

井頭公園には探鳥のほか一万人プール、釣り池、野外炉、フィールドアスレチック、ボート、パターゴルフ、貸自転車、温泉などがあるので、みなさんも一度遊びに行っても良い所だと思います。

この感想文が載る頃は、初夏の鳥が見られる季節ですが、冬鳥のミヤマホオジロの写真も図鑑をめくってみてください。黄色頭のち

びちゃんが現れますよ。私のお気に入り紹介になってしまいましたが、楽しい探鳥会でした。

【担当幹事報告】 柴

<認めた鳥> (A、B班共通)カイツブリ、カワウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ミコアイサ、トビ、バン、オオバン、キジバト、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ビンズイ、ヒヨドリ、モズ、ルリビタキ、ジョウビタキ、アカハラ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ミヤマホオジロ、アオジ、シメ、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計36種番外 ガチョウ(A班のみ)オカヨシガモ、ノスリ、トラツグミ、アカゲラ、コガラ (B班のみ)アオサギ、ハシビロガモ、ヒバリ、ヒガラ、カワラヒワ

<参加者> 小川克子、小林秀美、柴本法子、間野吉幸、石渡成紀、鈴木静治、西巻実、諏訪哲夫、山本貞江、桑森亮、吉田隆行、片桐邦夫、猪爪敏夫、松本勝英、松本葉子、宮下三禮、中尾葉子、山住良子、松田幸保、大久保陸夫、染谷迪夫、北原建郎、山田哲生、小口勝久、野口隆也、中野久夫、田丸喜昭、田丸メリールイス、榎本右、植田啓介、田中功(担当幹事)猪爪敏夫、小林寿美子
参加者32名

軽井沢探鳥会

2月24日、25日

感激の軽井沢観察会

野口隆也

参加者20名、サロンカー仕立てのおかげで、往復のバスの中は鳥の話で大いに盛り上がった。

目的地軽井沢は前夜の雪のパラツキとは打って変わって天候にも恵まれ、唯一「長靴」を愛用した小生は吉田さんの指摘にもめげず、二日目の野鳥の森探索では林道に残った雪を踏みしめ、ひとり「よかったな」と自己満足。おかげで？アオゲラに見事に遭遇

宿泊地の塩壺温泉では朝早くから夕方までガラス越しに次から次に訪れる野鳥をパ

ノラマ観賞ができ、大感激！露天風呂でもジョウビタキを見れ、幸せ一杯の気分であった。（同じ露天風呂でミソサザイを見れた人も！）

反省事項が二つ。

反省 子供連れのお母さんに、鳥の名前を聞かれ、得意気に次々教えながらコゲラの夫婦？をカメラで撮っていたところ、目の前にアカゲラがいることに気がつかなかったこと。・・・アカゲラが飛び去った瞬間に初めて気がついた。

反省 ミソサザイに三度も会う機会を得たのに、きれいな写真を一枚も撮れなかったこと。今回の参加で本命レンジャクとオオマシコには会えなかったが、初見参はカワアイサ・アカゲラ・アオゲラ・ミソサザイ・ゴジュウカラ・カシラダカのなんと六種で大収穫の野鳥観察会であった。（尚、帰りのバスの中での鳥合わせは53種であった。）

いずれにしても「鳥と温泉と懇親三昧」という贅沢な企画で至福の時を過ごせ、参加全員の皆さんと世話役の皆さん（大久保さん・染谷さん・北原さん・佐々木さん）にただただ感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました！

【担当幹事報告】

今回の軽井沢行きは天気には恵まれましたが、残念ながらお目当てのレンジャク、オオマシコには会えませんでした。しかしながら、東電調整池ではオシドリ、カワアイサ、軽井沢ではアオシギ、アオゲラ、アカゲラ、ゴジュウガラ、カワガラス、ミソサザイ、裏妙義ではウソとの出会いがありました。参加者のご協力により今回の探鳥会が無事終了したことを、幹事一同、心から御礼申し上げます。

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、オシドリ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、カワアイサ、トビ、オオバン、コチドリ、イソシギ、アオシギ、ウミネコ、キジバト、カワセミ、アオゲラ、アカゲラ、コゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、カワガラス、ミソサザイ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、エナガ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、

ゴジュウカラ、ホオジロ、カシラダカ、カワラヒワ、ベニマシコ、ウソ、イカル、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 53 種

<参加者> 中西榮子、間野吉幸、諏訪哲夫、鈴木静治、桑森亮、野口隆也、小玉文夫、吉田隆行、猪爪敏夫、村上稔、佐々木隆、西巻実、宮下三禮、天野正臣、天野睦子、田中功、中野久夫（担当幹事）大久保陸夫、染谷迪夫、北原建郎 参加者 20 名

北本自然公園探鳥会

3月25日

初めてのキレンジャク

小口勝久

参加者 20 名 車 5 台にて雨がさんさんと降る中、我孫子駅北口を 9 時に出発しました。国道 16 号から国道 17 号を経て目的地に着いたのは、約 2 時間後の、11 時頃でした。その頃には、雨も止んでいて、ホッとしました。公園内の自然学習センターで丁寧な説明を受けた後、まずお昼ご飯を食べました。そして、公園の中に入っていました。最初に見たのはシメでした淡い色の姿を見ました。その後、アオゲラを見ました。

この日、僕は、持参した双眼鏡が初下ろしでした、それまでの、レンズの口径が 22mm だったのに対し口径が 32mm の双眼鏡は、視界が広く、対象となる野鳥を素早く捉える事が出来ました。それまでは、自分の双眼鏡はあまり当てにならない道具でしたが、今回の探鳥会で新しい双眼鏡を使ってみて、実に頼りになる道具であると感じました。

そうこうして、いろんな鳥を見て歩いていると、開けたところにカメラを構えた人たちがたくさんいました。キレンジャクでした、未だ写真でしか見たことのなかった鳥でした。双眼鏡とスコープでじっくりと見ました。皆さん、デジスコやらカメラで撮っていました。そんな風に歩いて、雨も降ってきたり止んでみたりして園内をほぼ一周してから、学習センター前で鳥合わせをしました。

ここで帰るかと思ったところ、桑森さんが、すぐそこでエナガをもう一度狙ってみたい

というので、同行してじっと見ていると、すぐ手前の枝に茶褐色の丸っこい鳥が現れました。カヤクグリでした、これも僕は見るのは初めてでした。

今回の探鳥会に参加して、初下ろしの双眼鏡とともに初めて見た鳥が印象的でした。案内役をなさった諏訪さんをはじめ、同乗させていただいた桑森さん、その他ご一緒させて頂いた方々ありがとうございました。

【幹事報告】

日時 2007年3月25日 9:00~15:00
雨のち曇り

<認めた鳥> カイツブリ、カルガモ、コガモ、チョウゲンボウ、キジ、クイナ、キジバ

ト、カワセミ、アオゲラ、コゲラ、ヒヨドリ、モズ、キレンジャク、ミソサザイ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、シメ、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、計28種 番外種 ガビチョウ、ソウシチョウ、コジュケイ

<参加者> 片桐邦夫、鈴木静治、松本勝英、松本葉子、天野正臣、天野睦子、小玉文夫、宮下三禮、野口幸子、西巻実、北原建郎、玉井修一郎、井上正、吉田隆行、桑森亮、佐々木隆、橋本清、小口勝久（担当幹事）諏訪哲夫、田中功 参加者20名

酒々井町の皆さんの探鳥会

間野吉幸

日時：2月10日(土) 10:00~13:00

酒々井町の「ネーチャーウォッチング会」と「酒々井里山づくりフォーラム」及び酒々井町役場職員を含む20名の方への探鳥会を「手賀の丘公園」、「手賀沼」で行い、探鳥の指導をしました。参加した皆さんは探鳥することが初めての人が多く、大変熱心で探鳥の楽しさや感動があり、地元でも野鳥観察をしたいとの動機が得られたとの感想を戴きました。

ここに、酒々井里山づくりフォーラムの遠藤博之さんが纏められた「手賀沼等探鳥会と谷津ミュージアム見学会（報告）」の中から今回の探鳥会に参加された方の貴重な感想をご紹介します。

今回の探鳥会に参加することをためらっていたが、参加して、体験してみて始めてその楽しさを知りたという感想を述べられている方も2名いらっしゃいました。

(1)探鳥会の時期と計画について

もう少し遅い季節の方が野鳥が見られたのではないかという意見がありましたが、野鳥観察図鑑には秋～冬季は餌も少なく生き残りをかけた試練の季節、春から夏にかけての季節は夏鳥の季節、子育ての季節、春と秋の季節4月～5月は北上の季節、9月から10月は南下の季節と4季折々に鳥の行動を観察することもおもしろいと記載されています。森林の野鳥観察と水鳥の観察を分けて別の日にすればもっと面白いと云う意見がありましたが、探鳥会では森林の鳥と水鳥の両方を観察し、その観察の仕方の違いを知ることができたという方もいました。

(2)普段気がつかなかった鳥の姿とその種類の多様性

名前は知っていても姿をしらなかつたこと、みな同じとりとして見ていたが種類が違うこと、名前知らない鳥が身の回りに沢山いたこと、観察してみると本当に鳥の種類が多いことに驚いた。

(3)インストラクターがいて初めて解る探鳥の基本とその楽しさ

水鳥はスコープを設置してゆっくり観察できレンズを通して見る鳥に肉眼では見ることが

できない迫力と美しさに感激した。

インストラクターによるガイド付きの探鳥会はいろいろな新しい発見もあり一層たのしいものでありました。

特に山野の野鳥はその姿を双眼鏡で捉えるのが難しいが、探鳥はいきなり双眼鏡やスコープで探すのではなく、インストラクターの方は鳴き声や動き、予測される鳥の性質、いつも出てくる場所など五感と今まで学習した知識をもとに判断し、必ずしも双眼鏡やスコープでみることを主眼にしているのではない事を知りました。

(4) 印旛沼や酒々井における野鳥観察がしたいという動機を得た

酒々井町には何種類の野鳥がいるだろう、印旛沼にも水鳥たちがいるといいな・・・、いつも双眼鏡や図鑑を手元におき、鳥がいたらもう少し注意して観察するようにしたいと思った等、探鳥をつづけたいという動機を得ました。

(5) 自然環境保全における行政と市民団体の協働と市民参加の必要性

県の管理する野鳥公園がきれいに管理されているが道路脇の溝に多くのゴミが投げ捨てられていたのを見て残念に思った。

自然環境をとりもどすために、行政による三方コンクリートの護岸を自然再生型に改修が行われていることや、里山(谷津)の自然を取り戻す活動を行政・市民・専門家が協働して取り組んでいるのを見て感激しました。

<認めた鳥> カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ミコアイサ、ミサゴ、トビ、オオタカ、ノスリ、バン、オオバン、タゲリ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ヒバリ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ルリビタキ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、シメ、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、計 49 種

<当会参加者> 猪爪敏夫、桑森亮、間野吉幸

会員の鳥情報コーナー

(今回より、会員の皆さんからの鳥情報、探鳥記などをお伝えします。とりあえず今回は ab-birdnet、ab-news に寄せられ中かから皆さんの活動状況などをお伝えすることとします。メーリングリストの他、編集担当の小玉まで直接 E-mail、お葉書等でお寄せください。)

湖北台

* 今朝、湖北台でもウグイスの初鳴きを聞きました。斜面林の茂みの中でまだ未熟な鳴き方で、前奏のホーが無くてホッケキョを繰り返していました。(2/24 赤尾さん)

あけぼの山公園

* あけぼの山にウソがいます。今朝ウォーキングのときにいました。8羽いました。2月22日にも報告しましたがその後2日間いました。(3/7 西巻さん)

* 今朝も8羽いました。今朝は雪がごく

少し降っていました。彼岸桜が咲いています。この桜はソメイヨシノより襲いのですが、今年は大変ですね。(3/16 西巻さん)

* 今朝はアトリがいました。さんざんウソが食べた場所に10羽いました。ウソのように同じ場所で食べ続けることはなく、アトリはよく動きます。何かを食べているようですが花芽ではありません。(3/17 西巻さん)

下沼・岡発戸谷津

* 下沼のカモは北へ渡ったのですが、めっきり少なくなっており、観察できた種はマガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、ホ

シハジロでした。ハス群生地ではコハクチョウが1羽休んでおり、カンムリカイツブリもまだ少し残っていました。染入落の葦原ではコブハクチョウの抱卵らしき様子が見られました。

岡発戸谷津では、ホオジロ類が中心ですが、カシラダカの頭が黒くなっているのも見られたり、ウグイスのホーホケキョの囀りがあちこちで聞こえるようになりました。ベニマシコは ですがまだ見られました。

冬鳥も終盤の感で、我孫子高校の交差点ではツバメを今期初認しました。(3/18 桑森さん)

北柏ふるさと公園

* 吉田さんがヒレンジャクが柳の花を食べていたと言う報告があります。キレンジャクでも北柏ふるさと公園で柳の花を食べていました。我孫子でレンジャクを見るのは春の遅い時期が多いので、食べる物はネズミモチ(と聞いたようだ)の実、カラサンサの実、キズタの実などの実を食べています鳥研に来たのは写真では1989年3月29日で記憶ではキレンジャク約10羽、ヒレンジャク1羽で前庭のネズミモチの実(赤く色づいている)を食べていました。世界鳥名事典ではキレンジャクは果実を食べ、繁殖地では昆虫を空中で食べるとあり、ヒレンジャクはカキ、ヤドリギ、ネズミモチなどの実を食べる。秋

や春には梢から飛び立って空中で昆虫を捕らえることがある。とあります。柳の花を食べるのは始めてみました。(4/1 西巻さん))
手賀沼遊歩道

* 今日もしつこく手賀沼遊歩道に行ったら、通りすがりのヒレンジャク10羽に会いました、あやめ園近くの木に止まった後、日立経営研修所の方に飛んで行きました。前から居る1羽は、まだ残っています。(4/4 松田さん)

波崎海岸探鳥記

* 21日に、二人で波崎漁港に行きました。途中、神之池に立ち寄りしましたが、少数のオナガガモ、ヒドリガモ、キンクロハジロなどがいただけで、見るものはほとんどいませんでした。カンムリカイツブリの一羽は夏羽で、もう一羽は冬羽でした。

漁港手前の海水浴場の防波堤の漁港側の水面には、夏羽のハジロカイツブリ200-300羽の群れが忙しくもぐったり、泳いだりしていて壮観でした。パイプの上には、クロガモの♂が2羽休んでいました。漁港の建物の前の水面には、カンムリカイツブリの夏羽が沢山いて、クロガモの♂だけ14-15羽浮かんでいました。ここでは、シノリガモは見かけませんでした。写真を撮りたい方は、出かけてみる価値がありそうです。(3/21 田丸さん)

「鳥だより」における雛の見方について

鳥だより編集担当の諏訪です。何時も鳥だよりにご投稿いただきありがとうございます。鳥だより総括担当の飯泉さんから鳥だよりにおける雛の見方についてコメントをいただきましたのでお知らせすると共に今後の雛の見方についてはこのコメントを参考に鳥だよりを寄せていただくようお願いいたします。

(飯泉さんのコメント)

「鳥の観察者が一般的に雛と表現するのは孵化後の幼綿羽が生えてから幼羽が揃うまでの間のものを指します。しかも飛ぶ力のないものを指します。

幼羽とは、孵化後最初に生える正羽を持つもので、飛ぶ力のあるものです。さらに、幼鳥とは幼羽を持つものを指し、成鳥の羽衣になるまでの若鳥を含んで呼ばれています。

この点は観察記録を蓄積する上で基本的なことです。」 (諏訪哲夫)

「平成19年度の会費納入のお願い」

同封の郵便局の払込用紙にて早期にお振込みいただきますようお願いいたします。なお、既にお支払い済みの方は破棄してください。

会費 年会費2,000円(大学生・高校生1,000円、中学生以下500円、家族会員無料)

鳥 だ よ り

- | | |
|---|--|
| <p>1.12 [布施] ヲマシ(5)セイタカアワダチ
ソウの上 橋本清</p> <p>01.19 [柏の葉4丁目柏の葉公園] マリ
(20)樹上より飛翔 熊木雄一</p> <p>01.19 [柏の葉4丁目柏の葉公園] ウリ(7)
樹上にて採餌 熊木雄一</p> <p>01.21 [片山新田] ヲウゲンボウ(1)電線に止
まる 大久保陸夫</p> <p>01.22 [布施] ミツガイ(1)葦際から排水路
へ 橋本清</p> <p>01.26 [上沼田] ヲウゲンボウ(1)物色飛翔
大久保陸夫</p> <p>01.27 [手賀沼] シカキ(1)中州で休憩
熊木雄一</p> <p>01.27 [手賀沼] 材ハケヨウ(4)湖上にて休憩
熊木雄一</p> <p>01.28 [光が丘広池学園] キクイタキ(1)中
学・高校脇の斜面で木で鳴いていた
飯泉仁</p> <p>01.28 [手賀沼] ミコ(1)染井入新田地先、
杭上で採餌 桑森亮</p> <p>01.29 [古戸] ウリ(2) 1、 1、桜の花
の芽を食べていた 諏訪哲夫</p> <p>01.31 [利根川] カアヤ(6)時々潜水
熊木雄一</p> <p>02.01 [北新田] ノリ(1)排水栓上
中野久夫</p> <p>02.01 [北新田] ヲウゲ(1)4号排水路で採
餌 中野久夫</p> <p>02.03 [柏下] ミコ(1) 飯泉仁・久美子</p> <p>02.03 [片山] 材ハ(1) 飯泉仁・久美子</p> <p>02.03 [片山] ウリ(6) 飯泉仁・久美子</p> <p>02.03 [片山新田先手賀沼] ミコ(1)
飯泉仁・久美子</p> <p>02.03 [箕輪新田先手賀沼] ミコ(1)
飯泉仁・久美子</p> <p>02.04 [柏の葉4丁目柏の葉公園] ヲシガモ
(1)雄1、時折ピュピュと鳴いた
飯泉仁・久美子</p> <p>02.04 [柏の葉4丁目柏の葉公園] ヲウゲン
ボウ(1)キャンパスプラザ建物上空を北方
向に飛翔 飯泉仁・久美子</p> <p>02.06 [岡発戸新田] ヲウゲンボウ(1)物色飛</p> | <p>翔 大久保陸夫</p> <p>02.15 [北新田] ヲウゲ(1)葦原を飛翔
熊木雄一</p> <p>02.15 [北新田] ヲウゲンボウ(1)葦原を飛翔
熊木雄一</p> <p>02.16 [北新田] 材ハ(1)葦原を飛翔
熊木雄一</p> <p>02.16 [北新田] ハブサ(1)畔上で
中野久夫</p> <p>02.17 [北新田] ヲウゲ(1)2号水路から飛
び立ち 桑森亮</p> <p>02.17 [北新田] ヲマシ(1)2号水路沿葦中
桑森亮</p> <p>02.19 [中峠利根川ゆうゆう公園] ヲウゲ
(1)飛翔 中野久夫・井上正</p> <p>02.19 [古利根] ヲマシ(3)岸の樹上で
中野久夫・島崎純造・井上正</p> <p>02.20 [柳戸] 材ハ(1)立枯れ木上に
志賀鉄雄</p> <p>02.21 [手賀沼下沼] ヒ(1)飛翔
志賀鉄雄</p> <p>02.22 [鷲野谷新田] ノリ(1)杭上
志賀鉄雄</p> <p>02.22 [北新田] ヒ(1)上空で帆翔
中野久夫</p> <p>02.22 [布施あけぼの山公園] ウリ(9)桜の
芽を食べる 西巻実</p> <p>02.23 [大津ヶ丘1丁目] ヤガラ(2)枝移り
志賀鉄雄</p> <p>02.23 [片山] ヲウゲ(4)採餌 志賀鉄雄</p> <p>02.24 [上沼田] ノリ(1)杭上 志賀鉄雄</p> <p>02.25 [片山手賀の丘公園] ウリ(2)声を出
しながら林の中を移動 飯泉仁</p> <p>02.25 [片山手賀の丘公園] ヤガラ(4)
飯泉仁</p> <p>02.25 [片山手賀の丘公園] ノリ(1)上空を
旋回しながら上昇 飯泉仁</p> <p>02.25 [発作] コウヤウ(2)遊泳 片桐邦夫</p> <p>02.25 [片山] ヤガラ(2)地上で採餌
志賀鉄雄</p> <p>02.25 [箕輪] ヒ(1)飛翔 志賀鉄雄</p> <p>02.27 [手賀新田] ヲウゲンボウ(1)電柱上
志賀鉄雄</p> <p>02.27 [柳戸] ノリ(1)立枯れ木に</p> |
|---|--|

- 志賀鉄雄
02.28 [中央イトーヨーカ堂柏店] 冨ウヅ
ホウ(1)12:10 ビル上空を巡回していた
飯泉仁
02.28 [曙橋] アスイ(1)樹上より葦の中へ
志賀鉄雄
03.02 [手賀沼下沼] ヘニマシ(1)葦に止まり
り鳴く 志賀鉄雄
03.04 [柏下] 冨ウヅ(1)上空を巡回し、
餌を探していた 飯泉仁・久美子
03.04 [片山] ハカカ(1)上空を巡回、時折
パタパタとした羽ばたきが印象的だった
飯泉仁・久美子
03.04 [片山新田] ヒバリ(4)囀り
飯泉仁・久美子
03.04 [片山新田先手賀沼] ミコ(1)沼の
杭に止まり魚を食べていた
飯泉仁・久美子
03.06 [北新田] ハイロキ(1)、河川敷
上を物色飛翔 中野久夫・金成典知
03.07 [手賀川] ヘニマシ(1)葦の中より声
志賀鉄雄
03.08 [手賀沼下沼] 材カ(1)地上で採餌
志賀鉄雄
03.11 [大津ヶ丘1丁目] ウ(6)桜の木で採
餌 志賀鉄雄
03.12 [大井] 材カ(1)林の中より声
志賀鉄雄
03.12 [手賀沼下沼] ツメ(1)水面上を我
孫子側へ 志賀鉄雄
03.13 [手賀沼上沼] ヘニマシ(1)採餌
志賀鉄雄
03.16 [手賀沼下沼] 材カ(1)岸よりの夕
イヤ上に 志賀鉄雄
03.16 [手賀沼下沼] コハヤウ(1)採食
志賀鉄雄
03.16 [岡発戸] アガラ(1)田中の木に止ま
る、すぐ飛去 鈴木静治
- 03.17 [岡発戸] ヘニマシ(1)谷津、植物の
穂を採餌 桑森亮
03.18 [箕輪新田地先] 冨ウヅ(1)手賀
沼大橋上空飛翔、ドバトの群れを襲う
桑森亮
03.18 [若松] ヘニマシ(1)手賀沼遊歩道葦
原で採餌 桑森亮
03.18 [手賀沼下沼] クケ(1)(五本松下地
先)葦の中を移動 志賀鉄雄
03.18 [鷺野谷新田] ヘニマシ(1)植栽の低
木に 志賀鉄雄
03.18 [下沼田] ノ(1)電柱に止まる、す
ぐ飛去 鈴木静治

今回の観察者の総投稿件数

赤尾完	7
飯泉仁	51
飯泉仁・久美子	214
猪爪敏夫・鈴木静治・谷山晴男・ 川田光男	1
大久保陸夫	14
片桐邦夫	29
熊木雄一	12
桑森亮	29
桑森亮・染谷迪夫他	2
志賀鉄雄	100
首藤佑吉	11
鈴木静治	3
諏訪哲夫	1
中野久夫	30
中野久夫・金成典知	17
中野久夫・井上正・島崎純造	1
中野久夫・岡本信夫	1
西巻実	5
橋本清	2
総計	531

(諏訪哲夫)

ほーほーどり No196 2007年(5 ~ 6月号)

発行 2007年5月1日

発行人 我孫子野鳥を守る会 会長 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、宮下三禮

事務局 染谷迪夫 〒270-1154 我孫子市白山 1-9-4 Tel 04-7182-3972

振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000円(大学生・高校生 1,000円、中学生以下 500円、家族会員 無料)